

## 第3回 都庁周辺の空間再編に関する在り方検討委員会

### 1. 日時・場所

令和5年11月14日（火） 10:00～12:00

都庁第1本庁舎北塔42階特別会議室B +オンライン併用開催

### 2. 出席者

別紙 出席者名簿のとおり

### 3. 議題

- ・ 開会
- ・ 報告
  - (1) 体験イベントの実施報告
  - (2) 第8回西新宿地区再整備検討委員会の実施報告
- ・ 議事
  - (1) 都庁周辺の空間再編計画の方向性（案）
- ・ 閉会

### 4. 配布資料

次第

- [資料1] 体験イベントの実施報告
- [資料2] 第8回西新宿地区再整備検討委員会の主な意見
- [資料3] 前回検討委員会からの整理
- [資料4] 都庁周辺の全体再編計画（案）（一部非公表）
- [資料5] 都庁周辺の空間別再編計画（案）（非公表）
- [参考] 参考資料（非公表）

### 5. 議事概要

<報告>

- (1) 体験イベントの実施報告
- (2) 第8回西新宿地区再整備検討委員会の実施報告  
(事務局より資料説明（資料1・2）)

<議事>

- (1) 都庁周辺の空間再編計画の方向性（案）  
(事務局より資料説明（資料3・4・5・参考）)

(岸井会長)

○ 今後のスケジュールを説明してほしい。

(事務局)

- 12月に予定している第4回委員会にて、計画案を取りまとめた後、年明けにパブリックコメントを行いたいと考えている。これまでに整理してきた現状、課題や、計画案の中身も含めパブリックコメントの対象とする想定である。

**(岸井会長)**

- 現在検討している計画案と実際の設計プロセスの関係について説明してほしい。

**(事務局)**

- 4号街路沿い及び都民広場については先行して再整備を進めていく想定であり、今年度に取りまとめる予定の空間再編計画を踏まえ、次年度以降に設計を進めていく想定である。また、ふれあいモールや11号街路下については、段階的に検討・整備を進めていく。

**(坂井委員)**

- 都民広場の芝生化では多様な利用者が見られた中、帰りがけに一休みできる場所として期待されているとのことであるが、利用者の回遊性の調査等を行っているか。西新宿全体の中での、都庁や都民広場の位置付けを整理した上で、再整備の方向性を検討できると良い。
- 4号街路沿いについて、新宿駅に一番近い箇所と新宿中央公園に一番近い箇所がアクセス上、重要である。新宿駅側は10号街路の高架をくぐって段差を登らなければならず、新宿中央公園側はコンクリート造の壁がある等、バリアが大きい。新宿駅側からアクセスする場合に、都民広場の方へ斜めに入る通路ができると良い。また議会棟低層部の都政ギャラリーや議会レストランも再編し、建物内の様子が外から感じられるようにできると良い。資料にも掲載されているが、断面で考えることが重要である。4号街路レベルと都民広場のレベル差がハードルになっているため、人々を4号街路に近い位置で一段上の都民広場の様子を視認できるレベルに上げて、中へ引き込んでいけると良い。人間の目線で、どこでどのように導いていくかを考えることは重要である。
- 4号街路や向かいの民間街区側の公開空地等の再編の動きを捉えながら、エリアマネジメントとの連携についても、ハード・ソフトともに引き続き考えていって欲しい。
- ふれあいモールについて、現在の線対象の空間配置に対し、平面的には非線対称となるみどりの空間を加えて、形式的な空間構成を少し崩していくことは必要であると感じた。
- 多くの都市にあり、西新宿にないものとして路地的な空間が挙げられるが、11号街路下は路地的な空間として、4号街路からアクセスした際にアーバンロビー等様々な場所が染み出しているように見えることで、非常に楽しめる空間になると感じた。

**(岸井会長)**

- 質問のあった回遊性に関するデータは調査しているのか。

**(事務局)**

- 今回の都民広場の芝生化では、回遊性に関する調査はできていないため、今後の課題として承った。

**(泉山委員)**

- 都民広場の芝生化の感想について、時間帯によって変化する日向・日陰を上手く活用することが大事であると感じた。猛暑の時は日陰の存在が重要である一方で、天然芝を敷く場合は日当たりも考慮する必要がある。また、見ていても心地が良い風景として、寝そべるアクティビティがあったことは良かった。雨天時の対応として、ラポストリートなどに滞留空間を確保するという視点もあると思う。また、冬の対応として、ストーブを設置し暖をとれるような工夫なども必要と感じた。
- アンケートの結果をみると、仕事をするといったアクティビティはイメージしにくいということであったが、ワーカーの利用を想定するのであれば、電源やWi-Fi、目隠しとなる植栽の配置等の対応が必要と感じた。また、高架の11号街路から手を振ったり、写真を撮影したりするような、視点場等も意識でき

ると良いと感じた。さらに、交流機能・情報発信という点が、今回の社会実験では想起しにくいということであったが、議会レストランがどう変わるかによって、都民広場の雰囲気も変わるのではないかと感じた。情報発信のしやすさを考える際は、広場だけでなく、周辺の機能と連動しながら考えた方が良い。

- 都民広場の計画案について、園路が蛇行する計画はユーザビリティとしては不便であると感じた。まっすぐ歩きたい人が多い中、芝部分が痛むことも懸念される。
- サンクンプラザは、全体的に重厚感のある柱・天井などを少し和らげることができると良い。
- 一般的に特定街区の有効空地においては、しゃれ街条例を適用しなければ収益イベントを実施できないのではないかと感じた。イベント運営などについて、一般的には指定管理者制度を活用することが多く、例えば虎ノ門ヒルズのオーバル広場では、カフェがピクニックシートの貸し出しを行い、芝生部分でご飯を食べる人なども多い。また、イベント時の倉庫の扱いについて、イベント会社が備品を全て用意するのは負担が大きいため、施設側で倉庫を設け、備品などを貸し出すといったことも検討できると良い。

#### (事務局)

- しゃれ街条例のまちづくり団体登録制度は、法人格を有する団体のみ登録可能であり、現状として、都庁街区ではしゃれ街条例を適用していない。有効空地の活用にあたっては、自分の敷地に限らず、融通して活用してもらおうといった仕組み等も今後検討していきたい。

#### (岸井会長)

- 坂井委員からも指摘のあった議会棟低層部の都政ギャラリーや議会レストランについて、手を加えることはありうるのか。

#### (事務局)

- 今後、内部で検討させて頂きたい。

#### (田中里沙委員)

- 都民広場の再編にあたっては、この場所に意味を持たせ、この場所の存在価値・ブランド力を考える必要がある。都民が地域と繋がり、世界と繋がる場であると設定すると、マルシェやアートイベント等を行うことの意味が出てくると思う。明文化し、民間にも伝えておかなければ、連携力もぶれるため、この場所の意味を明確にできればと思う。また多世代の様々な主義・思考の文化が混じり合うといったコンセプトを当初議論していたと思うが、そのような内容が資料から少し読み取れなくなっているように感じた。
- 大型ビジョンやプロジェクションマッピングのようなデジタルイメージは最初からセットしておけると良い。横浜市庁舎では、市民が滞留する空間に大きな画面があり、ニュース等を流しているが、都民広場ではダイナミックなことができると思った。「融合」を促すところまでチャレンジできると良い。
- サンクンプラザは、日陰や落ち着くといったスペックの価値だけではなく、大人の雰囲気やおしゃれさといった部分を施設内の店と連携、或いは対比の中で生み出していけると良い。
- ふれあいモールは、都庁の職員がリフレッシュしたり、リセットしたり、或いは外の人がお昼にやって来て、都庁の人たちと意見交換する等、様々な利用シーンが想定されると思う。
- 「Tokyoite PLAZA」というコンセプトの「PLAZA」について、近くに京王プラザホテルなどもあり、場所が限定的に捉えられてしまう可能性があると感じた。例えば、「Tokyoite PLACE」等も考えられる。
- 4号街路沿いは、外部から一番目立つ所であり、メッセージ力もある場所であるため、ここを象徴的な場所としながら、都民広場に繋げていくというスケジュール感かと思っている。
- ラボについては、対象別に深く双方向にコミュニケーションをとっていける場所にすることに意味があると思っている。前回委員会で示された対象者のタイプ別のインサイトやライフスタイル別の対応等のように、ラボも対象者別の運営計画を組んでいけると良い。

#### (岸井会長)

- メッセージ性については、もう一度確認したほうが良い。都庁がここで展開する新しいチャレンジは何か、「世界」「双方向」「環境」など、いくつかメッセージを出せると思う。
- ソフトの仕掛けは、一方的に作り、ただ提供すれば良いというだけではなく、行きつ戻りつしながらみんなで作っていきというプロセスが重要であり、多くの方が参加しながら作り上げていけると良い。

**(田中友章副会長)**

- 都民広場の再編計画案について、樹木・ベンチなどが中央に設置されており、可動するものという想定で表現されているが、ユーザーが自分で動かすことができる大きさではないようである。通常時はどのように設置しておくのか、イベント時は気軽に移動できるものなのかといったことは重要であると思う。
- 4号街路沿いは、エレベーターなどのバリアフリー動線をどの位置に集中させるかにより、都民広場のレベルに上がるスロープや階段などの設置位置の可能性が変わってくる。また、道路と都民広場のレベル差が2m近くあるため、中間のGL+1100のレベルを有効に使い、上のレベルへの動線・視線の抜け・空間的な誘いを作っていくことが非常に重要である。GL+1100のエリアの設計の自由度を高めるためにも、バリアフリー動線の方針の整理は重要である。
- 都庁の空間は、当時の設計思想として対称形を重視した、フォーマルな空間の作り方をしている。当時の思想をリスペクトする必要はあるが、現代的な使い方に合わなくなっている部分もあり、ややインフォーマルに自由度のある使い方をする空間があまりないように思う。軸線などを尊重しながらも、それ以外の部分はできるだけ多義的な空間を作っていくということが基本的な思想であり、それらを共存させることが大きなテーマになると思う。そのような視点を踏まえると、4号街路沿いのGL+1100のエリアは、現状の真っ直ぐな空間ではなく、幅が違ったり、位置が違ったりしながら、人々がうまく誘導される空間にできると良い。また、議会レストランのはみ出しや都民広場の袖の空間の使い方とうまく繋げていくことが鍵になると思う。
- サンクンプラザは、都民広場から一階層下のレベルであり、軸性からも外れるため、壁面緑化も直立する平面ではなく、柔らかさやダイナミックさを入れることや、噴水部分も含めて総合的に手を入れていくことができるのではないかな。
- ふれあいモールも空間としてはフォーマルであるが、人々が寛ぎ、時間を過ごせるスペースを作っていくためには、フォーマルな構成を和らげていく工夫が必要である。計画案では、中央の円筒形の吹き抜けに、同じ幅のキャノピーやテーブルが設置されており、対象形を強化するデザインになっている。周りに配置しているニッチスペースのような非対称でゆらぎのある空間を増やして、様々な空間を作る方が良い。
- ラボストリートは、交通・移動に支障がない範囲で不規則にラボを配置して、空間が多様に展開するようにし、ぶらぶらと歩ける空間にできると良い。最短時間で移動したい人の障害になってはいけないが、少し余裕があって帰る人や、目的地まで行く経路上で余裕のある時間を使おうとする人の場所がたくさんあるようなデザインになると良い。
- 都民広場などの既存の彫刻について、設置当初は中心的な空間構成を踏まえた配置とされていたと思うが、空間再編後も同じ場所に彫刻が置かれることの是非については確認が必要ではないかな。

**(事務局)**

- 都民広場の再整備にあたっては、設計の段階からハード面・ソフト面を同時に検討できればと思う。また、4号街路沿いについては、GL+1100の部分を有効に使えるよう検討していく。

**(田中友章副会長)**

- 計画・設計段階に全て整理してしまうのではなく、多少は未規定のまま残しておき、ユーザーが手を入れ、関わっていくことができる自由を残していく考え方も大切である。運営側がそれをうまくサポート

しながら一緒に作っていくことで、その場所が生き生きと使い続けられる場所になる。今回の整備にあたっては、ハード面のみ費用を充てるのではなく、段階的に変化しつづけるための仕掛けづくりに費用を投じることが重要ではないか。

**(岸井会長)**

- 来年度以降、基本設計・実施設計に移っていくが、この場所でアクティビティを行うプレイヤーの意見をうまく設計の中に取り込めるかが重要である。
- デジタルの要素はどこまで織り込もうと考えているか。例えば、プロジェクションマッピングなどを行う想定で設計を行うのか。

**(デジタルサービス局 つながる東京整備担当部長)**

- プロジェクションマッピングについては、管理部門などで今後検討されていくものと考えている。
- 再整備において、屋外の通信環境を整えておくことは重要と認識している。また、今後様々なスマートサービスが世の中に出ていくことを考えたとき、例えば自動配送ロボットなどを導入するためには、段差を解消していく必要があるなど、デジタルサービスが街に入ってきたときに使いやすい街の形を念頭において検討していく必要がある。
- Wi-Fi は、オープンローミング対応として、シームレスにつながるシステムを整備している段階。ランニングコストの面から屋外空間も全て対応することにはハードルがあるが、都庁舎の1階部分など一般の方々がよく訪れるフロアを中心に整備を進めている。現状として、都民広場に Wi-Fi は整備されていないが、広大なエリアに整備する場合は、ポールなどを設置する必要がある。

**(岸井会長)**

- 都民広場や11号街路下などにどのような情報通信能力を整備するかを計画に書き込めると良い。

**(田中友章副会長)**

- 都民広場やふれあいモールなども含め、都庁の足元周りは重要な活動・情報発信・発表の場になる。情報インフラがないと、11号街路下のラボから発信する活動の可能性が制約されてしまう懸念がある。東京都はアジアの主要都市と競争になるが、屋外空間を含めて面的に情報インフラを整えることは、シンガポールなど他のアジアの主要都市では当然取り組まれている内容かと思う。

**(岸井会長)**

- 通信環境はきちんと整理したい。少なくとも新宿駅から都庁周辺は通信環境を整えていく方が良い。新宿中央公園では、Wi-Fi は整備されているのか。

**(新宿区 みどり土木部長 (代理))**

- カフェ等の施設の周辺及び水の広場において、限定的な範囲で整備している状況。

**(泉山委員)**

- Wi-Fi がないとそもそも広場が使われない。若い世代は、自分のデータ通信量を極力使いたくない人が多いため、Wi-Fi が整備されているとか、広場のHPやInstagramのアカウント等の発信媒体がないと使われない場になるのではないか。また、TikTokなどで動画・写真を発信することも彼らの目的の一つになっているため、Wi-Fi 環境の整備は重要である。

**(新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事)**

- 民間街区では、低層部一体で使える通信環境を整えているところが多いが、前面の道路部分までは届かない。西新宿地区全体で通信環境が連続的ではないところが課題と考えている。
- 都庁周辺の再編とその管理運営について、長期的な方向性が示されたことは有意義であると思う。一方、一部整備ができた段階でも実施できることはあると思う。都庁周辺の街路も含めた段階的な再編スケジュール・ステップを示して頂き、エリアマネジメント団体としても出来ることを検討したい。

- 11号街路高架下の整備時期は2035年頃を想定しているとのことだが、先行的に利活用できることはあると考える。また、11号街路高架下のハイアットリージェンシー側に繋がるアクセスも重要であるため、4号街路交差点での横断歩道設置についてご検討頂きたい。

**(財務局 庁舎運営担当部長)**

- 展望室は、入場者数が年内には100万人を超える見込みで、利用者の内訳としてはインバウンドが7~8割を占めている。展望室の利用者がいかに滞在・回遊する空間を作っていけるかが重要であると考えている。
- 都民広場等の管理運営について、現状利用できるイベントは都の主催・共催・後援のものに限定しているが、再編後は事業範囲を拡大することも視野に入れて検討していきたい。

**(総務局 総務部長 (代理))**

- セキュリティについて、横浜市庁舎では、市民の対応を行う場合、個人情報保護等の観点からも、執務空間の外にあるスペースで対応するように工夫しているとのことである。都庁では、一般の人々が利用可能な食堂や都民情報ルームなどもセキュリティゲートを通さないと利用できないため、一般の人々が利用可能なエリアはセキュリティゲートを通らずにアクセスできるように改変できると、職員も仕事がしやすく、都民も訪れやすくなると考えている。

**(坂井委員)**

- 4号街路は次世代モビリティが走るようになる中で、やはり情報通信環境を整えることは重要と考える。また、セミオープンな空間、特定の人が利用する空間等、段階的なグラデーションのあるパブリックスペースについても考えていけると良い。

**(泉山委員)**

- センシング等で利用状況のデータを取得していくことも重要であり、メルボルン等では街路灯に設置した機器で交通量データを整理している。収集したデータを社会実験や空間整備の効果検証に役立てる等、データドリブンによる検討もできると良い。

**(デジタルサービス局 つながる東京整備担当部長)**

- 西新宿エリア全体でスマートポールの整備を進めており、一部のスマートポールには人流を調査するためのカメラも搭載している。個人情報やプライバシーに配慮しながら、データを取得し、快適な生活につながるサービスを生み出していけるかが重要である。

**(岸井会長)**

- 都庁周辺の将来像については、広くアイデアを募り議論したい。「プラザ」という言葉と「都民広場」との意味の違いについても気になるが、「Tokyoite」という言葉についても、広く流布しているとは言い難いため、色々なアイデアを頂き、事務局に伝えてほしい。
- 都庁舎周辺の再編にあたっては、現在並行して検討されている道路の再編案等を踏まえて議論したい。新宿中央公園から新宿駅も含めた広域の図面で、西新宿地区全体を見ながら議論できると良い。
- スケジュールについては、皆で共通の目標とする節目を共有しながら進めていけると良い。また、新宿中央公園や新宿駅西口広場の再整備等を含む広域でのスケジュールも踏まえながら、都庁周辺のスケジュールを整理できると良い。

以上